SONY

2-632-969-**01**(1)

取扱説明書

NW-E503/E505/E507

Network Walkman

Portable IC Audio Player

Atrac3plus　MP3

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

読みたいページにジャンプするには、PDFの「しおり」を表示して項目をクリックするか、取扱説明書の「目次」で項目をクリックしてください。

WALKMAN

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

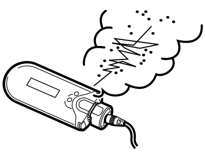
1年に1度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら



➡
1. パソコンと接続している場合は、USBケーブルを抜く
2. お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電　破裂

行為を禁止する記号



接触禁止　禁止



分解禁止　ぬれ手禁止

目次

基本的な使いかた

進んだ使いかた

本体の設定を変える

その他の機能

FMチューナー

その他

この取扱説明書では、ネットワークウォークマン本体の操作について説明しています。付属の SonicStageソフトウェアについては「インストール・基本操作ガイド」をご覧ください。
「インストール・基本操作ガイド」はSonicStageと一緒にパソコンにインストールされます。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属のソフトウェアについて

- □ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- □ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- □ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- □ 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- □ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- □ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

- "ウォークマン"、"WALKMAN" はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。
  はソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- SonicStage およびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- "MagicGate"（マジックゲート）およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

⚠危険 火災 破裂

この製品はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。
液漏れ、発熱、発火、破裂などを避けるため、
必ず下記の注意事項をお守りください。

火の中に入れない

禁止

分解しない

感電の原因となります。内部の点検および修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。
ただし、廃棄時には48ページの手順に従って内蔵の充電式電池を取りはずし、リサイクルにご協力ください。

分解禁止



火のそばや炎天下などで放置しない

禁止

充電式電池が液漏れしたとき

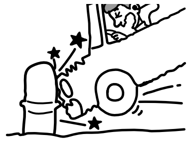
充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

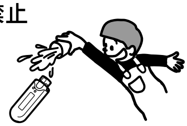
禁止



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、USBケーブルをパソコンから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止



⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり
周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止



はじめからボリュームを上げすぎない

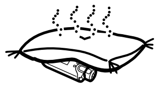
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

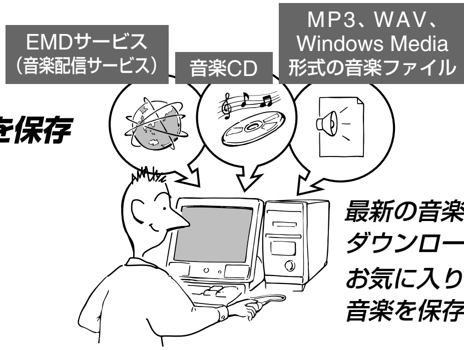
禁止



こんなことができます

最初に付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールします。パソコンのハードディスクに保存した音楽データを本機内蔵のフラッシュメモリーに転送することで、お好みの音楽データを手軽に持ち運んで楽しめます。

1 パソコンに音楽を保存



最新の音楽をダウンロード！
お気に入りの音楽を保存！

2 ネットワークウォークマンに転送



USBで接続

3 音楽を持ち出して聞こう！



本機の主な特長

- 小型軽量サイズで、振動にも強く、優れた携帯性。
- リチウムイオン充電池で約50時間＊1の連続再生。
- NW-E503：256MBの内蔵フラッシュメモリーに11時間40分以上＊2の音楽データの記録が可能。
  NW-E505：512MBの内蔵フラッシュメモリーに23時間30分以上＊2の音楽データの記録が可能。
  NW-E507：1GBの内蔵フラッシュメモリーに47時間00分以上＊2の音楽データの記録が可能。
- 付属の専用ソフトウェアSonicStageを使って、音楽CDを高音質・高圧縮のATRAC3plus形式でパソコンのハードディスクに録音。
- 付属のSonicStageを使って、MP3形式の音楽データを手軽に本機に転送可能。
- 外国語の学習にも役立つセンテンスリピート機能。
- パソコンと本体は専用USBケーブルで接続、データを高速転送。
- 漢字も表示できる有機ELディスプレイ。
  パソコンで入力した曲名などを表示可能。
- アーティスト、アルバムまたはグループで、再生したい曲を検索できるSEARCH機能。
- FMチューナー内蔵で、FM放送とテレビ放送（1～3チャンネル）が受信可能。
- 音楽以外のデータも記録可能なストレージ機能。

＊1 再生する曲のデータ形式や省電力設定などにより異なります。省電力設定がNormalのとき（38ページ）に、ATRAC3形式 105kbpsで記録された曲を再生した場合。
＊2 記録時のビットレートなどにより異なります。ATRAC3plus形式 48kbpsで記録した場合。

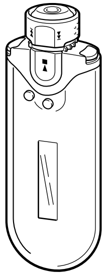
ご注意

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。
- 以下の理由により、一部の文字や記号が本機上で正しく表示されない場合があります。
  – パソコンに接続しているポータブルプレーヤーの性能。
  – パソコンに接続しているポータブルプレーヤーが正常に動作していない。
  – 曲のID3タグの情報が、ポータブルプレーヤーでサポートされていない言語や記号で書かれている。

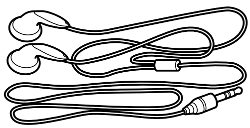
準備：付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

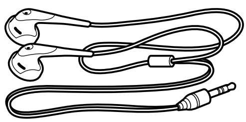
- ネットワークウォークマン本体（1）



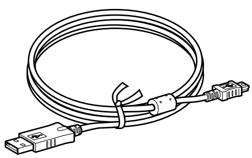
- ヘッドホン（1）
  NW-E503



NW-E505/E507



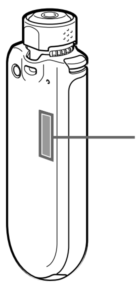
- 専用USB接続ケーブル（1）



- ヘッドホン延長コード（NW-E505/E507）（1）
- キャリングポーチ（NW-E505/E507）（1）
- クリップ（1）
- CD-ROM（1）
  （SonicStage（ソニックステージ）ソフトウェア、本体取扱説明書のPDFファイル、インストール・基本操作ガイドのPDFファイル）
- 取扱説明書－はじめにお読みください（1）
- 保証書（1）
- カスタマーご登録のお願い（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）

シリアルナンバーについて

カスタマー登録の際に本機のシリアルナンバーの入力が必要となります。シリアルナンバーは本体裏面のラベルに印刷されています。



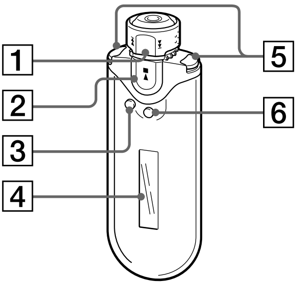
この製品についてお客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談の際、シリアルナンバーが必要になる場合があります。書き留めておいてください。
シリアルナンバーは、メニュー画面でも確認することができます（42ページ）。

各部のなまえ

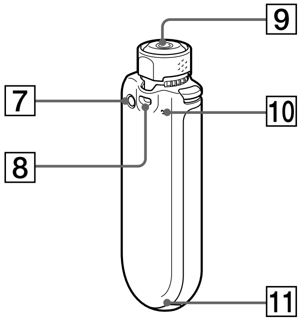
（　）内のページに詳しい説明があります。

本体

表面



裏面



1 **シャトルスイッチ**
（16、19～24、28、30、32～36、38～42、44、46ページ）

2 **►■（再生／停止）ボタン**
（16、19～22、24、26～28、30、32、34～36、38～42、44、46ページ）

サーチ / メニュー
3 SEARCH/MENU**ボタン**
（19～22、24、28、30、32、34～36、38～42、44、46ページ）

4 **表示部** （12、17、25、29、43ページ）
表示部の表示窓、アイコンの名前は、12ページをご覧ください。

5 VOL**（ボリューム）+/–ボタン**
（16、36ページ）

6 DISP/FM**（ディスプレイ/FM）ボタン**
（29～30、43ページ）

リピート / サウンド
7 REPEAT/SOUND**ボタン**
（25～27、31、44ページ）

8 **ネックストラップ取り付け口**

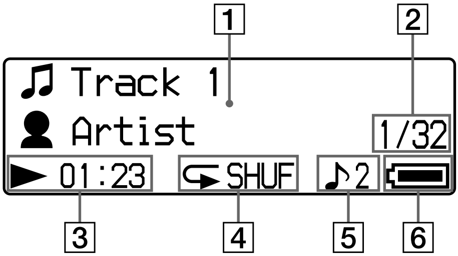
9 **ヘッドホンジャック**（16ページ）

10 **リセットボタン**（49ページ）

11 USB**ケーブル接続ジャック**
（14ページ）

次ページへつづく

表示部



1 **文字情報／グラフィック表示窓**
（17、25ページ）
アルバム名、アーティスト名、曲名などの表示や、時計表示（29～31、34ページ）、エラー表示（53ページ）、メニュー画面などが表示されます。
再生・停止中の表示内容は、DISP/FM（ディスプレイ/FM）ボタンを押して切り換えられます（29～31ページ）。また、一定時間操作がないときに、省電力画面に切り換えたり、画面表示を消したりするように設定することもできます（38ページ）。

2 **現在の曲番号/再生範囲の総曲数**
再生または選択している曲の曲番号と、現在の再生範囲（17ページ）の総曲数が表示されます。

3 **再生状態表示**
現在の再生状態（►：再生中、■：停止中）と経過時間が表示されます。

4 **リピートモード表示**（25ページ）
現在のリピートモードのアイコンが表示されます。

5 **デジタルサウンドプリセット表示**
（31～32ページ）
デジタルサウンドプリセットが設定されている場合に表示されます。

6 **電池残量表示**（14ページ）
現在の電池残量が表示されます。

ヒント
FMチューナーの表示については、43ページからの「FMチューナー」をご覧ください。

パソコンからネットワークウォークマンに音楽を転送する/充電する

ご注意

本機を初めてパソコンに接続するときは
接続前に、必ず付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールしてください。すでにSonicStageがインストールされている場合でも、必ず「SonicStageソフトウェア」をインストールしてから本機をパソコンに接続してください（アップデートプログラムが入っている場合があります）。

1 付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールする

手順1は、本機を初めてパソコンに接続するときのみ必要です。
「取扱説明書・はじめにお読みください」をご覧ください。
「インストール・基本操作ガイド」にも詳しく説明されていますので、ご覧ください。

ヒント
「インストール・基本操作ガイド」はSonicStageと一緒にパソコンにインストールされます。

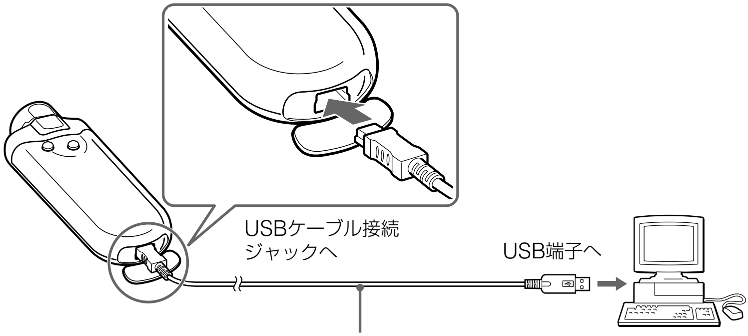
2 SonicStageに音楽データを取り込む

詳しくは「インストール・基本操作ガイド」をご覧ください。

次ページへつづく

3 ネットワークウォークマンをパソコンに接続する/充電する

付属の専用USB接続ケーブルの小さいほうのコネクタ部分を本機のUSBケーブル接続ジャックに、大きいほうのコネクタ部分をパソコンのUSB端子に差し込みます。本機の表示窓に「USB Connect」と表示されます。



本機はパソコンと接続することによって、充電されます。

電池残量表示が FULL になったら、充電完了です（充電時間：約120分*1）。
はじめてお使いになるときは、なるべく電池残量表示が FULL になるまで連続して充電することをお勧めします。

*1 USB接続方法（41ページ）が「High-power 500mA」に設定してあり、室温で電池残量がない状態から電池を充電したときのめやすです。電池の残量や電池の状態などにより、上記の充電時間は異なる場合があります。また、充電時の温度が低い場合や音楽データを本機に転送中なども充電時間は長くなります。

*電池の持続時間（連続再生時）**2

ATRAC3形式の場合：約50時間
ATRAC3plus形式の場合：約45時間
MP3形式の場合：約40時間
FM放送受信時：約22時間

*2 省電力設定（38ページ）が「Normal」に設定してあるときのめやすです。周囲の温度や使用状況により、上記の持続時間は異なる場合があります。

電池残量の表示について

ご使用中、表示窓（12ページ）の電池残量表示でお知らせします。



目盛りが少なくなるほど、電池残量が減っています。また「LOW BATTERY」と表示された場合は、再生できません。本機をパソコンに接続して充電を行ってください。

ご注意

- 充電は周囲の温度が5～35°Cの環境で行ってください。
- 本機とパソコン間でのデータ転送中は、「USB Connect」の上のアイコンが左右にアニメーション表示されます。アイコンが動いている間は、USBケーブルを抜かないでください。転送中のデータが破壊されることがあります。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、付属の専用USB接続ケーブルで接続してください。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本体の操作はできません。
- パソコンに接続しているときは、内蔵フラッシュメモリーの内容がWindowsのエクスプローラでも表示できます。

4 ネットワークウォークマンに音楽データを転送する

本体内蔵フラッシュメモリーに音楽データを転送するときの操作方法は、「インストール・基本操作ガイド」をご覧ください。

ヒント

転送した音楽データをパソコンに戻す方法についても、「インストール・基本操作ガイド」もしくはSonicStageのオンラインヘルプをご覧ください。

ご注意

音楽データを転送中にUSBケーブルが抜けてしまうなどのことが原因で転送が正常に終了しなかったとき、不要なデータが本機内に発生する場合があります。そのような場合には、パソコンに戻すことのできる音楽データ（音楽以外のデータも含む）を戻して、メモリーの初期化（Format）（40ページ）を行ってください。

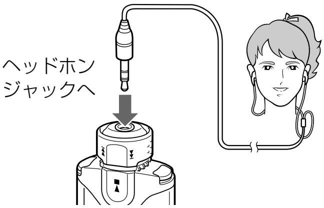
ネットワークウォークマンで音楽を聞く

あらかじめ本体内蔵の充電式電池を充電し（14ページ）、音楽データを本機の内蔵フラッシュメモリーに転送しておきます。

ご注意

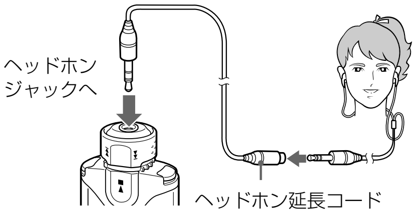
- ネットワークウォークマンを操作するときは、パソコンとの接続をはずしてください。
- FMチューナーの操作については、43ページからの「FMチューナー」をご覧ください。

1 ヘッドホンを装着する

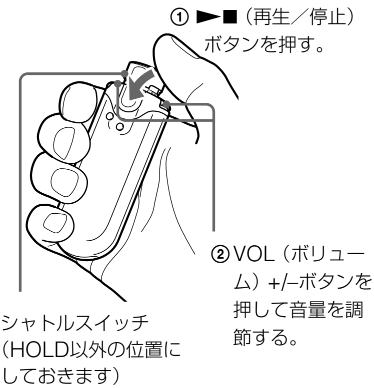


ヘッドホン延長コードご使用の場合（NW-E505/E507）

「カチッ」という音がするまで差し込む。



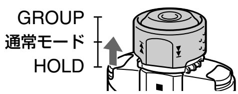
2 再生する



リピートモード（24ページ）が設定されていない場合は、最後の曲まで再生すると自動的に停止します。

再生が始まらないときは

シャトルスイッチがHOLD以外の位置になっていることを確認してください（33ページ）。



再生を途中で止めるには

►■（再生／停止）ボタンを押します。

音量を調節するには

音量はプリセットとマニュアルで調整できます（36〜37ページ）。

ヒント

一定時間操作がないときに、省電力画面に切り換えたり、画面表示を消したりするように設定できます（38ページ）。

聞きたい曲を検索する（SEARCH）

本機では、アーティスト名やアルバム名などで聞きたい曲を絞り込み、検索することができます。

曲の検索方法には、以下の3つがあります。

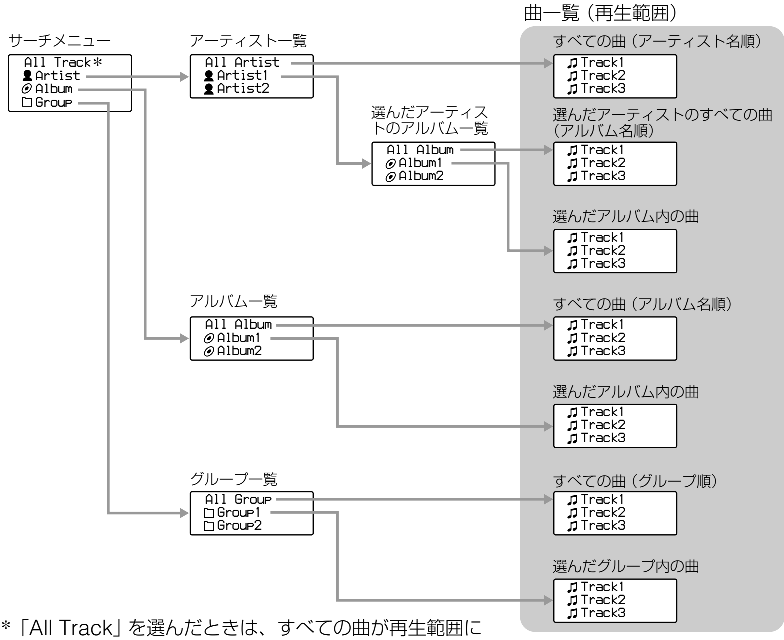
- アーティスト名で検索する（Artist）
- アルバム名で検索する（Album）
- SonicStageから曲を転送したときの、グループ*で検索する（Group）
  - * SonicStageに取り込んだ音楽データは、1曲でも必ずグループを作って、ネットワークウォークマンの内蔵フラッシュメモリーに転送されます。

検索の流れと再生範囲

SEARCH/MENUボタンを押すと、サーチメニューが表示されます。

メニューから検索方法を選んで►■（再生／停止）ボタンを押すと1階層下のメニューに進み、SEARCH/MENUボタンを押すと1階層上のメニューに戻ります。これを繰り返して、聞きたい曲を検索します。

検索の結果、絞り込まれた曲一覧が再生範囲（下図の　　で囲まれた部分）となります。リピートモード（24ページ）が設定されていない場合は、選択した曲から再生範囲の最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。



* 「All Track」を選んだときは、すべての曲が再生範囲になり、グループ順に表示されます。

基本的な使いかた

次ページへつづく

検索（SEARCH）の使用例

① サーチメニューを表示して、“👤 Artist”を選ぶ。
② アーティスト一覧から“👤 Artist B”を選ぶ。
③ Artist Bのアルバム一覧から“◎ Album 5”を選ぶ。
Album 5の曲一覧が表示されます。
この曲一覧が今回の再生範囲になります。
④ 曲一覧から“♫ Track15”を選ぶ。
⑤ ►■（再生／停止）ボタンを押す。
Track15から再生が始まります。
Track16（再生範囲の最後の曲）の最後まで再生されたあと、自動的に再生が停止します。

フラッシュメモリー内のすべての曲

Album	Artist …①	Track
Album 1	Artist A	Track01
Album 1	Artist A	Track02
Album 1	Artist A	Track03
Album 2	Artist A	Track04
Album 2	Artist A	Track05
Album 2	Artist A	Track06
Album 3	Artist B	Track07
Album 3	Artist B	Track08
Album 3	Artist B	Track09
Album 4	Artist C	Track10
Album 4	Artist C	Track11
Album 4	Artist D	Track12
Album 5	Artist A	Track13
Album 5	Artist B	Track14
Album 5	Artist B	Track15
Album 5	Artist B	Track16

②

Artist Bのアルバム一覧

Artist	Album
Artist B	Album 3
Artist B	Album 3
Artist B	Album 3
Artist B	Album 5
Artist B	Album 5
Artist B	Album 5

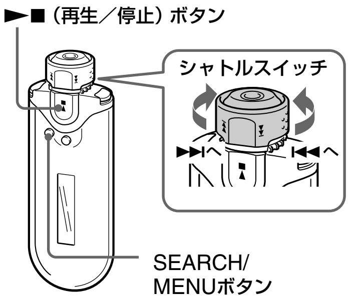
③

Album 5の曲一覧

Album	Track
Album 5	Track14
Album 5	Track15 …④
Album 5	Track16

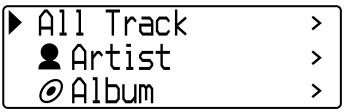
►■ …⑤

曲をアーティストで検索して再生する



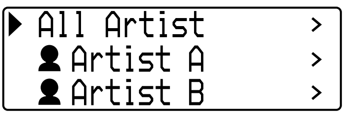
1 SEARCH/MENUボタンを押す。

サーチメニューが表示されます。



2 シャトルスイッチを回して「 Artist」を選び、►■（再生/停止）ボタンを押して決定する。

アーティスト一覧が表示されます。



3 シャトルスイッチを回して聞きたいアーティストを選び、►■（再生/停止）ボタンを押して決定する。

選んだアーティストのアルバム一覧が表示されます。



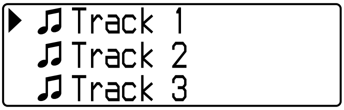
ヒント

アーティスト一覧のいちばん上にある「All Artist」を選んで►■（再生/停止）ボタンを押すと、すべての曲がアーティスト名順（同一アーティストの曲は、アルバム名順）に並べ替えられて表示されます（このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります）。続けて手順5の操作を行い、曲の再生を開始してください。

次ページへつづく

4 **シャトルスイッチを回して聞きたいアルバムを選び、►■（再生/停止）ボタンを押して決定する。**

選んだアーティストのアルバムの曲一覧が表示されます。このとき表示されている一覧が「再生範囲」となります。



ヒント

アルバム一覧のいちばん上にある「All Album」を選んで►■（再生/停止）ボタンを押すと、手順3で選んだアーティストのすべての曲が、アルバム名順に並べ替えられて表示されます（このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります）。

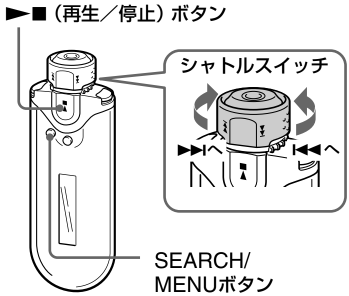
5 **シャトルスイッチを回して、再生を開始したい曲を選び、►■（再生/停止）ボタンを押して決定する。**

選んだ曲から再生が始まります。リピートモード（24ページ）が設定されていない場合は、再生範囲の最後の曲まで再生されたあと再生が停止します。

1つ前の画面に戻るには

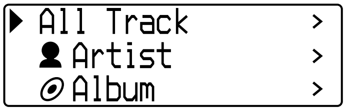
SEARCH/MENUボタンを押します。サーチメニュー（手順1の画面）が表示されているときにSEARCH/MENUボタンを押すと、再生画面に戻ります。

曲をアルバムで検索して再生する



1 **SEARCH/MENUボタンを押す。**

サーチメニューが表示されます。



2 **シャトルスイッチを回して「Album」を選び、►■（再生/停止）ボタンを押して決定する。**

アルバム一覧が表示されます。



3 **シャトルスイッチを回して聞きたいアルバムを選び、►■（再生/停止）ボタンを押して決定する。**

選んだアルバムの曲一覧が表示されます。このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります。

```
▶ ♫Track 1
  ♫Track 2
  ♫Track 3
```

ヒント

アルバム一覧のいちばん上にある「All Album」を選んで►■（再生/停止）ボタンを押すと、すべての曲が、アルバム名順に並べ替えられて表示されます（このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります）。

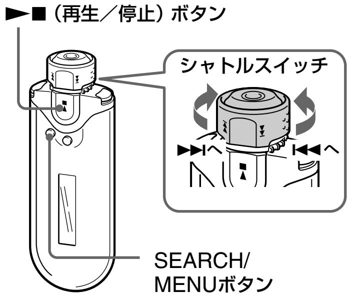
4 **シャトルスイッチを回して、再生を開始したい曲を選び、►■（再生/停止）ボタンを押して決定する。**

選んだ曲から再生が始まります。リピートモード（24ページ）が設定されていない場合は、再生範囲の最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

1つ前の画面に戻るには

SEARCH/MENUボタンを押します。サーチメニュー（手順1の画面）が表示されているときにSEARCH/MENUボタンを押すと、再生画面に戻ります

曲をグループで検索して再生する



1 **SEARCH/MENUボタンを押す。**

サーチメニューが表示されます。

```
▶ All Track   >
  Artist      >
  Album       >
```

2 **シャトルスイッチを回して「□ Group」を選び、►■（再生/停止）ボタンを押して決定する。**

グループ一覧が表示されます。

```
▶ All Group   >
  □Group 1    >
  □Group 2    >
```

基本的な使いかた

次ページへつづく

ネットワークウォークマンで音楽を聞く（つづき）

3 **シャトルスイッチを回して聞きたいグループを選び、►■（再生/停止）ボタンを押して決定する。**

選んだグループの曲一覧が表示されます。このとき表示されている一覧が「再生範囲」となります。

```
▶ ♫Track 1
  ♫Track 2
  ♫Track 3
```

ヒント

グループ一覧のいちばん上にある「All Group」を選んで►■（再生/停止）ボタンを押すと、すべての曲が、グループ順（SonicStageから転送された順）に並べ替えられて表示されます（このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります）。

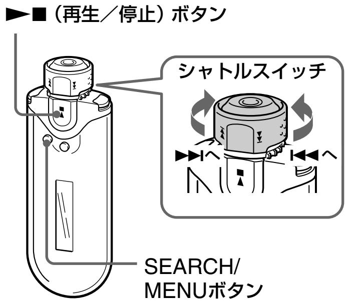
4 **シャトルスイッチを回して、再生を開始したい曲を選び、►■（再生/停止）ボタンを押して決定する。**

選んだ曲から再生が始まります。リピートモード（24ページ）が設定されていない場合は、再生範囲の最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

1つ前の画面に戻るには

SEARCH/MENUボタンを押します。サーチメニュー（手順1の画面）が表示されているときにSEARCH/MENUボタンを押すと、再生画面に戻ります。

その他の操作

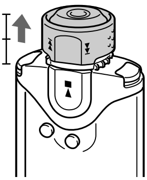


こんなときは	シャトルスイッチ操作
次の曲の頭出し*1	►►Iへ短く回す
再生中の曲の頭出し*1	I◄◄へ短く回す
早送り*2	►►Iへ回し、止めたい場所で手をはなす
早戻し*2	I◄◄へ回し、止めたい場所で手をはなす

*1 停止中にシャトルスイッチを►►I（I◄◄）へ回した状態にしておくと、次の曲（現在の曲）、さらに次の曲（前の曲）を連続して頭出しできます。
*2 早送り／早戻しを開始すると、時間の経過とともに徐々に速度が速くなります。

グループ操作モード

シャトルスイッチをGROUPの位置にするとグループ操作モードに入れます。



グループ操作モードでは、再生範囲の曲をアルバム単位またはグループ単位で頭出しすることができます。

こんなときは	シャトルスイッチ操作
次のアルバム／グループの、最初の曲の頭出し*1*2	シャトルスイッチをGROUPの位置にして▶▶I へ短くまわす
再生中のアルバム／グループの、最初の曲の頭出し*1*2	シャトルスイッチをGROUPの位置にしてI◀◀ へ短くまわす

*1 現在の再生範囲がアーティストまたはアルバムで検索した曲一覧の場合、次（または現在）のアルバムの最初の曲が頭出しされます。現在の再生範囲がグループで検索した曲一覧の場合、次（または現在）のグループの最初の曲が頭出しされます。

*2 停止中にシャトルスイッチを▶▶I（I◀◀）へ回した状態にしておくと、再生範囲内の次のアルバム／グループ（現在のアルバム／グループ）、さらに次のアルバム／グループ（現在のアルバム／グループ）を連続して頭出しできます。

リピートモード

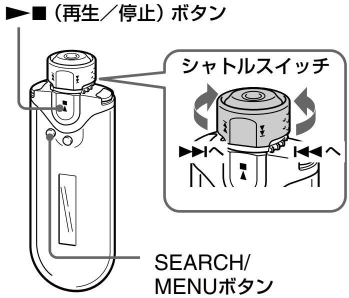
トラックリピート、A-Bリピート、センテンスリピートの3通りのリピートモードがあります。

- **トラックリピート（Track Rep）**
  曲を下記の3通りのリピートモードで再生できます。

トラックリピートモード	動作
リピート	現在の再生範囲内のすべての曲が繰り返して再生されます。
1曲リピート	1曲が繰り返して再生されます。
シャッフルリピート	現在の再生範囲内のすべての曲が、順不同に繰り返し再生されます。

- **A-Bリピート（A-B Rep）**
  曲の一部を繰り返して再生します。
- **センテンスリピート（Sentence Rep）**
  トラックの指定ポイントのボイスデータ（センテンス）を繰り返して再生します。

リピートモードを選択する（Repeat Mode）



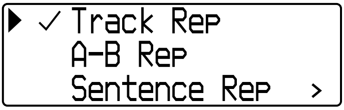
1 **停止中に、SEARCH/MENUボタンを約0.5秒間押し続ける。**

メニュー画面が表示されます。

```
▶ Repeat Mode    >
  Sound          >
  Volume Mode    >
```

2 **シャトルスイッチを回して「Repeat Mode>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

3 シャトルスイッチを回してお好みのリピートモードを選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。



「Track Rep」、「A-B Rep」、「Sentence Rep」の中からリピートモードを選ぶことができます。詳しくは下記をご覧ください。

- Track Rep:「曲を繰り返し再生する（Track Repeat）」
- A-B Rep:「曲の一部を繰り返し再生する（A-B Repeat）」
- Sentence Rep:「トラックの指定ポイントのセンテンスを繰り返し再生する（Sentence Repeat）」

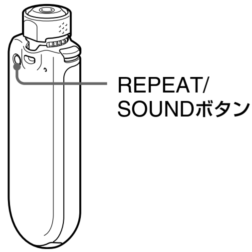
4 SEARCH/MENUボタンを繰り返し押して、メニューモードを終了させる。

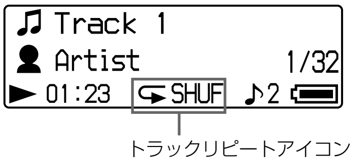
ご注意

- 60秒以上ボタン操作をしないと、通常の再生画面に戻ります。
- 曲が1曲も入っていない場合は、リピートモードの設定はできません。
- 本機をパソコンに接続すると、設定したリピートモードはキャンセルされます。
- 再生範囲を変更すると、設定したリピートモードはキャンセルされます。
- 曲の再生中、リピートモードの設定はできません。

曲を繰り返し再生する（Track Repeat）

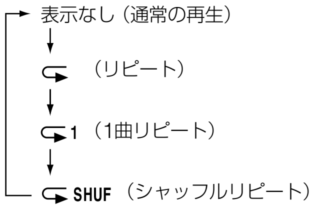
REPEAT/SOUNDボタンを押すとトラックリピートモードの種類が切り換わります。表示窓に現在選択しているトラックリピートモードのアイコンが表示されます。





トラックリピートモード（Track Rep）を選択する（24ページ）。次に、REPEAT/SOUNDボタンを繰り返し押し、設定したいリピートモードを選択する。

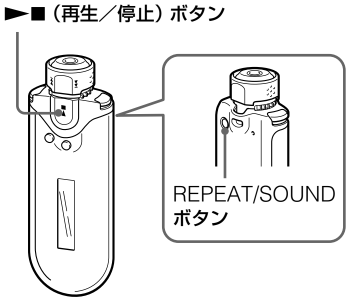
ボタンを押すごとに、トラックリピートアイコンが次のように切り換わります。



次ページへつづく

曲の一部を繰り返し再生する（A-B Repeat）

曲の再生中、繰り返し再生したい部分（セクション）の開始ポイント（A）と終了ポイント（B）を設定できます。



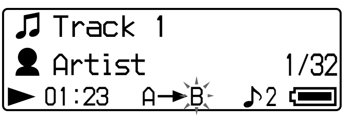
1 A-Bリピートモード（A-B Rep）を選択する（24ページ）。

2 **►■（再生／停止）ボタンを押して曲を再生する。**

「A→」が点滅します。

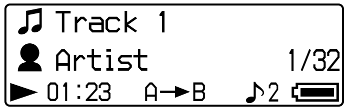
3 **曲の再生中にREPEAT/SOUNDボタンを押して開始ポイント（A）を決定する。**

「A→」が表示され、「B」が点滅します。



4 **REPEAT/SOUNDボタンを押して終了ポイント（B）を決定する。**

「A→B」が表示され、指定した部分（セクション）が繰り返し再生されます。



ご注意

- 1曲を超える長さのセクションは設定できません。
- 終了ポイント（B）が設定されていない場合は、自動的に曲の最後が終了ポイント（B）になります。
- 開始ポイント（A）の設定後、シャトルスイッチを回すと開始ポイント（A）が解除されます。
- 開始ポイント（A）の設定後、FMチューナーに切り換えると開始ポイント（A）が解除されます。

開始ポイント(A)や終了ポイント(B)を消すには

- A-Bリピート中にREPEAT/SOUNDボタンを押す。
- A-Bリピート中にSEARCH/MENUボタンを押す。
- A-Bリピート中にシャトルスイッチを「GROUP」の位置まで引いて、グループ操作モードにする。
- A-Bリピート中にシャトルスイッチを回して次の曲／前の曲を選ぶ。

（A-Bリピートモードは取り消されません。）

A-Bリピートモードを取り消すには

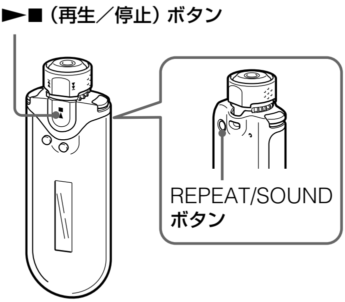
メニューモードに入り、リピートモードを変更します（24ページ）。

トラックの指定ポイントのセンテンスを繰り返し再生する（Sentence Repeat）

指定ポイントからボイスデータ（センテンス）のみを自動的に検知し、設定回数を繰り返し再生します。外国語の学習の際に、BGM（背景音）のない語学学習用の教材音源で効果が発揮されます。

ヒント

初期設定では、センテンスごとにリピート回数が2回に設定されています。リピート回数を変更するには、「リピート回数を設定する」（28ページ）をご覧ください。

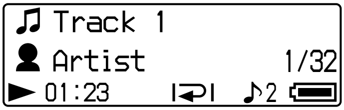


1 **センテンスリピートモード（Sentence Rep）を選択する（24ページ）。**

2 **►■（再生／停止）ボタンを押して曲を再生する。**

3 **曲の再生中にREPEAT/SOUNDボタンを押して開始ポイントを指定する。**

開始ポイントから検索が始まり、ボイスデータ（センテンス）がある部分とボイスデータ（センテンス）がない部分を検知すると、センテンスリピートが開始されます。ボイスデータ（センテンス）は、1回（検知中）＋設定回数ぶん（28ページ）だけ繰り返されます。



ご注意

- ボイスデータ（センテンス）がある部分またはボイスデータ（センテンス）がない部分の長さが1秒以下の場合は、検知されません。
- ボイスデータ（センテンス）がない部分がトラックの最後まで検索されなかった場合、トラックの最後が終了ポイントとみなされて、開始ポイントからトラックの最後までの間でセンテンスリピートが行われます。
- センテンスリピート中に、FMチューナーに切り換えると指定ポイントは解除されます。

次ページへつづく

リピートモード（つづき）

指定ポイントを消すには

- センテンスリピート中にREPEAT/SOUNDボタンを押す。
- センテンスリピート中にSEARCH/MENUボタンを押す。
- センテンスリピート中にシャトルスイッチを「GROUP」の位置まで引いて、グループ操作モードにする。
- センテンスリピート中にシャトルスイッチを回して次の曲／前の曲を選ぶ。

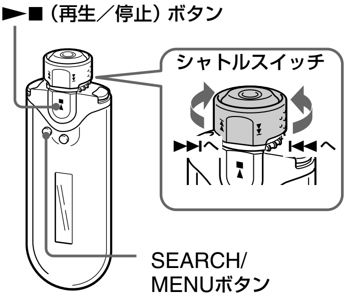
（センテンスリピートモードは取り消されません。）

センテンスリピートモードを取り消すには

メニューモードに入り、リピートモードを変更します（24ページ）。

リピート回数を設定する

センテンスリピートモード（Sentence Rep）のリピート回数は、1～9回まで設定できます。



1 **停止中に、SEARCH/MENUボタンを約0.5秒間押し続ける。**

メニュー画面が表示されます。

```
▶ Repeat Mode    >
  Sound          >
  Volume Mode    >
```

2 **シャトルスイッチを回して「Repeat Mode>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

3 **シャトルスイッチを回して「Sentence Rep」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

「Repeat Count」の値に[　]が付いて表示されます。

```
Repeat Count
    [2]
```

4 **シャトルスイッチを回してお好みの回数を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

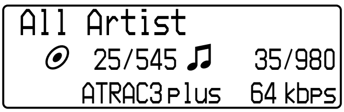
メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

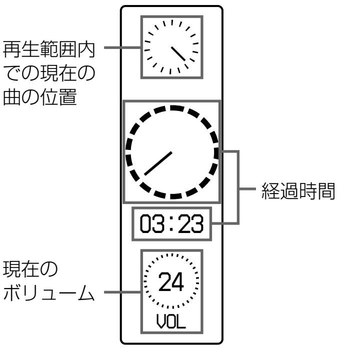
表示画面を切り換える

オーディオプレーヤーを再生中または停止中に、表示される画面をお好みに応じて切り換えることができます。表示画面の切り換えは、DISP/FM（ディスプレイ/FM）ボタンで操作します。
表示画面には以下の4つがあり、使用する画面をあらかじめメニューモードで選択できます（30ページ）。

- Property：曲属性表示
  現在の再生範囲、現在のアルバム番号／再生範囲の総アルバム数、現在の曲番号／再生範囲の総曲数、コーデック（曲の圧縮方式）、ビットレートが表示されます。



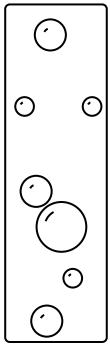
- Lap Meter：ラップメーター表示
  再生範囲内での現在の曲の位置、曲の経過時間、現在のボリュームが表示されます。



- Clock：時刻表示
  現在時刻と年月日が表示されます。

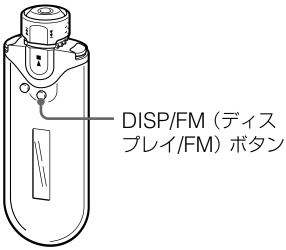


- Bubble：アニメーション表示
  シャボン玉のアニメーションが表示されます。



次ページへつづく

表示画面を切り換える



オーディオプレーヤーを再生中または停止中にDISP/FM（ディスプレイ/FM）ボタンを押す。

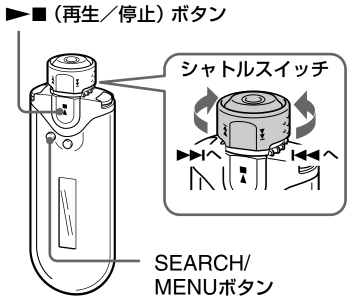
通常表示 → Property → Lap Meter → Clock → Bubble → 通常表示

ご注意

- 上記は、メニューモード（Display Screen）で、すべての表示画面にチェックマーク「✓」が付いている場合の表示順です。チェックマーク「✓」が付いていない画面は表示されません。
- FMチューナーを使用中は、画面の切り換えはできません。

使用する画面を選択する（Display Screen）

DISP/FM（ディスプレイ/FM）ボタンを押したときに、「Property」、「Lap Meter」、「Clock」、「Bubble」の各画面を表示するかどうかを選択できます。メニューモード（Display Screen）で、チェックマーク「✓」が付いているものだけが表示されます。



1 **停止中に、SEARCH/MENUボタンを約0.5秒間押し続ける。**

メニュー画面が表示されます。

```
▶ Repeat Mode   >
  Sound         >
  Volume Mode   >
```

2 **シャトルスイッチを回して「Display Screen>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

```
▶ ✓Property
  ✓Lap Meter
   Clock
```

3 「Property」、「Lap Meter」、「Clock」、「Bubble」のチェックマークを入れる。

① シャトルスイッチを回して「Property」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
② シャトルスイッチを回して「Lap Meter」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
③ シャトルスイッチを回して「Clock」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
④ シャトルスイッチを回して「Bubble」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

チェックマークが付いている項目に対して上記の操作を行うと、チェックマークがはずれます。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

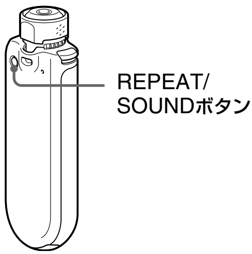
高音や低音を強調する（デジタルサウンドプリセット）

高音や低音を強調してあらかじめお好みの音質を設定できます。2種類の音質設定を記憶させることができ、オーディオプレーヤーの再生中に設定を選べます。

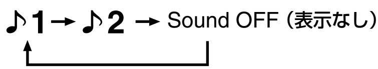
音質を選ぶ

お買い上げ時の設定

音質	Sound1（♪1）	Sound2（♪2）	Sound OFF（通常の音質）
Bass（低音）	＋1	＋3	±0
Treble（高音）	±0	±0	±0



REPEAT/SOUNDボタンを約0.5秒間押し続けて「♪1」または「♪2」を選ぶ。



次ページへつづく

高音や低音を強調する（デジタルサウンドプリセット）（つづき）

通常の音質に戻すには

「Sound OFF（表示なし）」を選びます。

ご注意

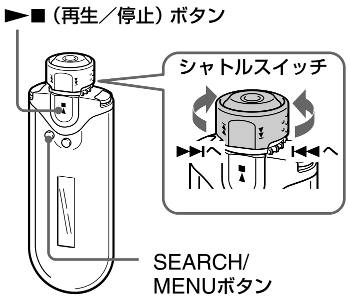
FMチューナーを使用中は、音質を選ぶことはできません。

音質を変える

Bass（低音）とTreble（高音）の2つの音質調整ができます。

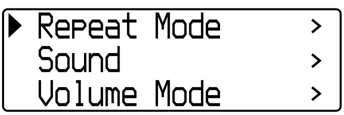
音質	数値の設定
Bass（低音）	−4 から+3
Treble（高音）	−4 から+3

「Sound1」、「Sound2」にお好みの設定を記憶できます。音楽データの再生時に、記憶させた設定で楽しめます。



1 SEARCH/MENUボタンを約0.5秒間押し続ける。

メニュー画面が表示されます。



2 シャトルスイッチを回して「Sound>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

3 「Sound1」の音質を設定する。

① シャトルスイッチを回して「Sound1>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
② シャトルスイッチを回して、「Bass」の値を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
③ シャトルスイッチを回して、「Treble」の値を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

「Sound2」の設定を変えるには

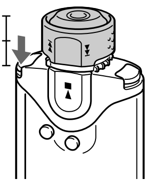
手順3の①で「Sound2>」を選びます。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

誤操作を防ぐ（HOLD）

カバンに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。



シャトルスイッチを「HOLD」の位置まで押し込む。

操作ボタンが働かなくなります。
ホールド中に他のボタンを押すと、「HOLD」と点滅表示されます。

ホールドを解除するには

シャトルスイッチを中央の位置（通常モード）まで引きます。

音楽以外の情報を持ち運ぶ

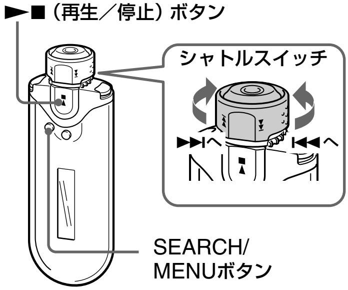
パソコンのハードディスク内のデータをWindowsのエクスプローラを使って、本機内蔵フラッシュメモリーに取り込むことができます。
Windowsのエクスプローラの外部ドライブ（Dドライブなど）として、本機内蔵フラッシュメモリーが表示されます。

ご注意

- 本機内蔵フラッシュメモリー内に音楽以外の大容量データが入っている場合、音楽データを取り込むための空き容量はその分減ります。
- Windowsのエクスプローラを使って、本機内蔵フラッシュメモリー内の[OMGAUDIO]フォルダー内にあるデータを編集しないでください。再生できなくなってしまいます。

現在時刻を設定する（Date-Time）

本体の現在時刻を設定し、オーディオプレーヤーを再生中または停止中に時計を表示させることができます。



1 **停止中またはFM放送を受信中に、SEARCH/MENUボタンを約0.5秒間押し続ける。**

メニュー画面が表示されます。

```
▶ Repeat Mode      >
  Sound            >
  Volume Mode      >
```

2 **シャトルスイッチを回して「Date-Time>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

「年」の値に[　]が付いて表示されます。

```
   Y     M    D    h    m
[2005] 01 / 01   15 : 00
```

3 **シャトルスイッチを回して「年」の数字を合わせ、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

「月」の値に[　]が付いて表示されます。

```
   Y     M    D    h    m
 2005 [01]/ 01   15 : 00
```

4 **手順3で「年」を入力したのと同様に「月」、「日」、「時」、「分」の数字を入力する。**

シャトルスイッチ回して現在の日時を合わせ、►■（再生／停止）ボタンを押して決定します。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

時計を表示させるには

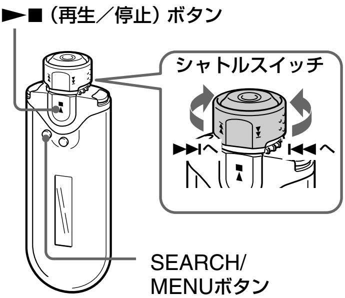
DISP/FM（ディスプレイ/FM）ボタンを繰り返し押して、画面表示を「Clock（時刻表示）」に切り換えます（29ページ）。
ただし、Display Screenメニューで「Clock」の画面を表示しないように設定している場合は、上記の操作で現在時刻を確認することはできません。

ご注意

- FMチューナーを使用中は、画面の切り換えはできません。
- 本機を使用しないまま長期間放置すると、設定した日時がリセットされてしまいますのでご注意ください。
- 時刻が設定されていないときは、年月日、時刻とも「--」が表示されます。

音もれを抑える（音量リミット-AVLS）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。



1 **SEARCH/MENUボタンを約0.5秒間押し続ける。**

メニュー画面が表示されます。

```
▶ Repeat Mode    >
  Sound          >
  Volume Mode    >
```

2 **シャトルスイッチを回して「AVLS>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

```
▶ ✓ AVLS ON
    AVLS OFF
```

3 **シャトルスイッチを回して「AVLS ON」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

この設定により、音量が一定のレベル以上、上がらなくなります。

設定を「OFF」にするには

手順3で「AVLS OFF」を選びます。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

ヒント

「AVLS ON」に設定されているときは、VOL（ボリューム）+/– を押したときに「AVLS」と表示されます。

お好みの音量を設定する（Volume Mode）

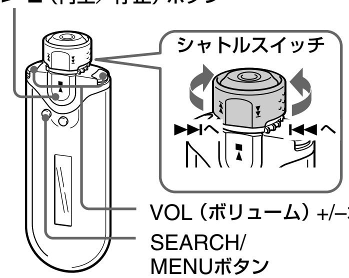
音量調節には2つのモードがあります。

マニュアルボリューム：

　VOL（ボリューム）+/–ボタンを押すと32段階で連続して音量が変わります。

プリセットボリューム：

　VOL（ボリューム）+/–ボタンであらかじめ設定しておいたLow、Mid、Highの3段階に切り換わります。



プリセットモードの音量を設定する（Preset Volume）

1 SEARCH/MENUボタンを約0.5秒間押し続ける。

メニュー画面が表示されます。

```
▶ Repeat Mode     >
  Sound           >
  Volume Mode     >
```

2 シャトルスイッチを回して「Volume Mode>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

```
▶ ✓ Manual Volume
    Preset Volume >
```

3 シャトルスイッチを回して「Preset Volume>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

「Low」の音量に[　]が付いて表示されます。

```
 Low    Mid    High
[ 5]    10      20
```

4 Low、Mid、Highの各値を設定する。

① シャトルスイッチを回して「Low」の音量を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

② シャトルスイッチを回して「Mid」の音量を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

③ シャトルスイッチを回して「High」の音量を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

ご注意

AVLS（35ページ）が設定されているときは設定した値よりも音量が低くなる場合があります。
AVLSを解除（AVLS OFF）すると設定した値の音量になります。

マニュアルモードに戻すには（Manual Volume）

1 **SEARCH/MENUボタンを約0.5秒間押し続ける。**

メニュー画面が表示されます。

```
▶ Repeat Mode     >
  Sound           >
  Volume Mode     >
```

2 **シャトルスイッチを回して「Volume Mode>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

```
▶ ✓ Manual Volume
    Preset Volume >
```

3 **シャトルスイッチを回して「Manual Volume」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

この設定によりVOL（ボリューム）+/–ボタンによる音量調節ができるようになります。

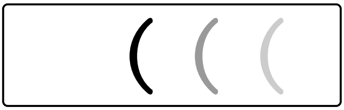
メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

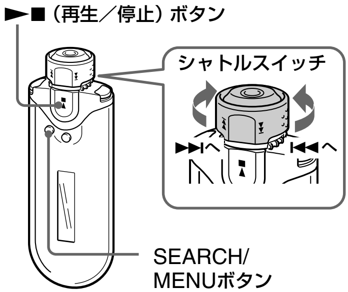
省電力設定をする（Power Save Mode）

一定時間（約15秒）操作がないときに、省電力画面に切り換えて、画面表示を消したりできます。

- Normal：再生中またはFM放送を受信中に (がアニメーション表示されます（省電力画面）。



- Super（Disp OFF）：画面には何も表示されません。電池の消耗を最も抑えることができます。



1 **SEARCH/MENUボタンを約0.5秒間押し続ける。**

メニュー画面が表示されます。

```
▶ Repeat Mode  >
  Sound        >
  Volume Mode  >
```

2 **シャトルスイッチを回して「Power Save Mode>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

```
▶ ✓ Save ON   >
    Save OFF
```

3 **シャトルスイッチを回して「Save ON>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

4 **シャトルスイッチを回してお好みの設定を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

```
▶ ✓ Normal
    Super(Disp OFF)
```

省電力設定をOFFにするには

手順3で「Save OFF」を選びます。

メニュー操作をやめるには

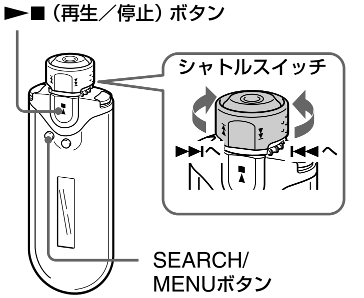
SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

ヒント

省電力設定（Power Save Mode）を「Save OFF」に設定すると、常に画面が表示されます。

ピッという確認音を鳴らさないようにする（Beep）

本体の確認音を消すことができます。



1 SEARCH/MENUボタンを約0.5秒間押し続ける。

メニュー画面が表示されます。

```
▶ Repeat Mode   >
  Sound         >
  Volume Mode   >
```

2 シャトルスイッチを回して「Beep>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

```
▶ ✓ Beep ON
    Beep OFF
```

3 シャトルスイッチを回して「Beep OFF」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

確認音が鳴るようにするには

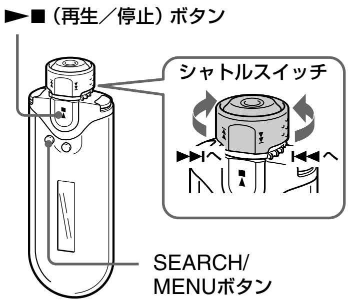
手順3で「Beep ON」を選びます。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

メモリーを初期化する（Format）

本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）することができます。初期化すると、記録されたデータはすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。



1 停止中に、SEARCH/MENUボタンを約0.5秒間押し続ける。

メニュー画面が表示されます。

```
▶ Repeat Mode    >
  Sound          >
  Volume Mode    >
```

2 シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

3 シャトルスイッチを回して「Format>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

```
Format OK?
▶ OK
  Cancel
```

4 シャトルスイッチを回して「OK」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

「Formatting...」が点滅表示され、初期化が始まります。
初期化が終了すると「Complete」と表示されます。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

初期化（フォーマット）するのをやめるには

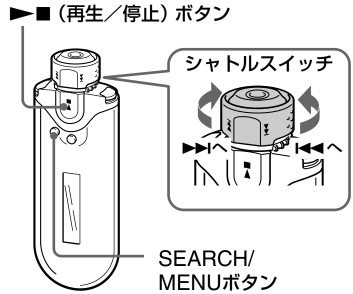
手順4で「Cancel」を選びます。

ご注意

再生中は初期化できません。

USB接続方法を変える（USB Bus Powered）

お使いのパソコンの使用状況によっては、パソコンからの電力供給が不充分になり、パソコンから本機への曲の転送が正常に行われないなどの現象が発生することがあります。このようなときは、USB接続方法（USB Bus Powered）を「Low-power 100mA」に設定すると、そのような現象が改善する場合があります。



1 **停止中に、SEARCH/MENUボタンを約0.5秒間押し続ける。**

メニュー画面が表示されます。

```
▶ Repeat Mode   >
  Sound         >
  Volume Mode   >
```

2 **シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

3 **シャトルスイッチを回して「USB Bus Powered>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

4 **シャトルスイッチを回してお好みの設定を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

```
USB Bus Powered
▶ ✓ High-power500mA
    Low-power 100mA
```

メニュー操作をやめるには

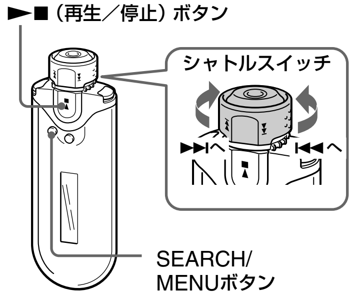
SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

ヒント

- ノートパソコンと接続するときは、ノートパソコンに電源をつなぐことをおすすめします。
- USB接続方法（USB Bus Powered）を「Low-power 100mA」に設定していると、充電時間が長くなります。

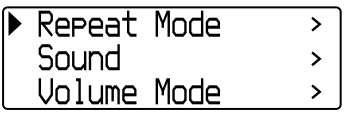
本機の情報を表示する（Information）

本機の機種名やメモリー容量、シリアルナンバー、ソフトウェアのバージョンを表示することができます。



1 停止中に、SEARCH/MENUボタンを約0.5秒間押し続ける。

メニュー画面が表示されます。



2 シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

3 シャトルスイッチを回して「Information>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

シャトルスイッチを回すごとに以下の情報が表示されます。

1： 機種名
2： メモリー容量
3： シリアルナンバー
4： ソフトウェアのバージョン

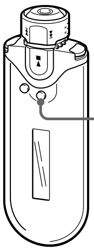
メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

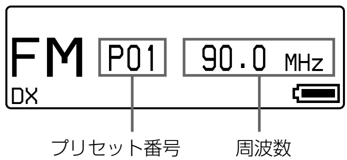
FM放送を聞く

本機のFMチューナーでは、FM放送とテレビ放送（1～3チャンネル）を聞くことができます。あらかじめ本体内蔵の充電式電池を充電し（14ページ）、ヘッドホンを装着してください。

1 FMチューナーに切り換える



FMチューナー画面*



＊ この画面は、お使いのものと異なる場合がございます。

DISP/FM（ディスプレイ/FM）ボタンを、約0.5秒間押し続ける。

FMチューナー画面が表示され、FM放送を受信することができます。

オーディオプレーヤーに戻るには

►■（再生/停止）ボタンを押すか、DISP/FM（ディスプレイ/FM）ボタンを約0.5秒間押し続けます。
FMチューナーに切り換える直前の停止状態に戻ります。

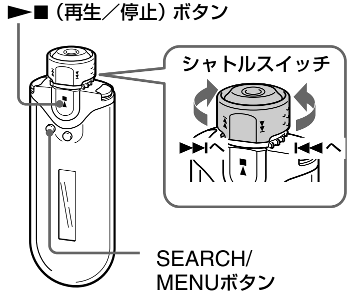
2 自動で放送局を登録する（FM Auto Preset）

メニューから「FM Auto Preset」を実行すると、お使いの地域で受信できる放送局を自動的に探してプリセットに登録できます（最大30局まで）。はじめてFMチューナーをお使いになるときや、お使いになる地域が変わったときには、「FM Auto Preset」を実行して、受信できる放送局をプリセット登録しておくことをお勧めします。

ご注意

FM Auto Presetを実行すると、それまで登録されていたプリセットはすべて消去されます。

次ページへつづく



1 SEARCH/MENUボタンを、約0.5秒間押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して「FM Auto Preset>」を選び、►■（再生/停止）ボタンを押して決定する。

3 シャトルスイッチを回して「OK」を選び、►■（再生/停止）ボタンを押して決定する。

受信できる放送局が低い周波数から順番で登録されます。
登録が終了すると「Complete」と表示されます。SEARCH/MENUボタンを繰り返し押してメニューモードを終了させると、いちばん最初に登録された放送局を受信します。

自動で放送局を登録するのをやめるには

手順3で「Cancel」を選び、►■（再生/停止）ボタンを押します。

メニュー操作をやめるには

SEARCH/MENUボタンを押すと、1階層上のメニューに戻ります。この操作を繰り返して、メニューモードを終了させます。

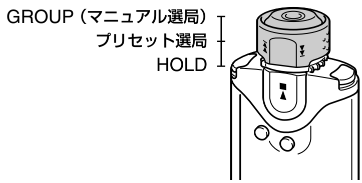
多くの不要な放送局を受信してしまうときは

普通の電波状態で受信感度が強すぎるときは、REPEAT/SOUNDボタンを押して「LOCAL」に設定してください。通常の状態に戻したいときは、再度REPEAT/SOUNDボタンを押して「DX」に設定してください。

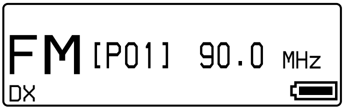
3 選局する

聞きたい放送局を選ぶ方法には、2つのモードがあります。

- **プリセット選局モード**
  シャトルスイッチを中央（プリセット選局）の位置にすると、プリセット選局モードになります。
  プリセット選局モードでは、登録されているプリセット番号で放送局を選ぶことができます。
- **マニュアル選局モード**
  シャトルスイッチをGROUP（マニュアル選局）の位置にすると、マニュアル選局モードになります。
  マニュアル選局モードでは、周波数で放送局を選ぶことができます。



プリセット選局



プリセット番号に[　]が付いて表示されます。

こんなときは	シャトルスイッチ操作
登録されている次のプリセット番号を選ぶ*	▶▶Iへ短く回す
登録されている前のプリセット番号を選ぶ*	I◀◀へ短く回す

* シャトルスイッチを▶▶I（I◀◀）へ回した状態にしておくと、時間の経過とともに、プリセット番号を選ぶ速度が速くなります。

ご注意

放送局を登録していない場合は、プリセット選局することができません。「FM Auto Preset」を実行して、受信できる放送局をプリセット登録してください（43ページ）。

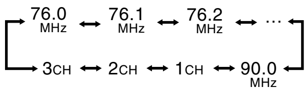
マニュアル選局



周波数に[　]が付いて表示されます。選んだ周波数が既にプリセットに登録されているときは、そのプリセット番号も表示されます。

こんなときは	シャトルスイッチ操作
次の周波数を選ぶ*1	▶▶Iへ短く回す
前の周波数を選ぶ*1	I◀◀へ短く回す
受信できる次の放送局を選ぶ*2	約1秒間▶▶Iへ回し続ける
受信できる前の放送局を選ぶ*2	約1秒間I◀◀へ回し続ける

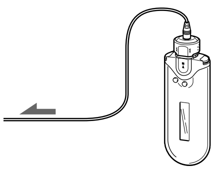
*1 シャトルスイッチを▶▶I（I◀◀）へ回すごとに、周波数は次にように切り換わります。



*2 シャトルスイッチを約1秒間▶▶I（I◀◀）へ回した状態にしておくと、次の（前の）放送局を探します。受信できる放送局を見つけると受信します。
普通の電波状態で受信感度が強すぎるときは、REPEAT/SOUNDボタンを押して「LOCAL」に設定してください。通常の状態に戻したいときは、再度REPEAT/SOUNDボタンを押して「DX」に設定してください。

よりよく受信するには

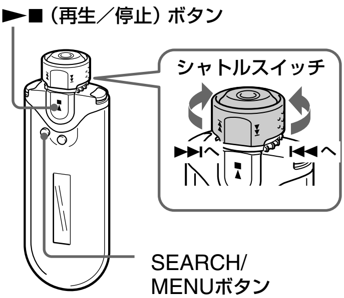
ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。できるだけ長く伸ばしてお使いください。



FMチューナー

お好みの放送局をプリセット登録する

「FM Auto Preset」（43ページ）で登録できなかった放送局を、必要に応じてプリセット登録することができます。



1 マニュアル選局で、登録したい周波数を選ぶ。

2 ►■（再生/停止）ボタンを、約0.5秒間押し続ける。

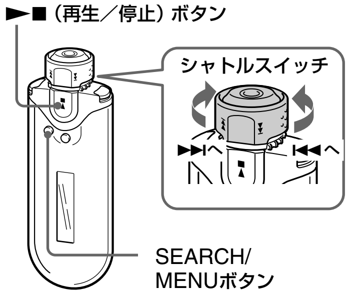
ヒント

プリセットには、最大30局（P01～P30）まで登録できます。

ご注意

プリセット番号は、常に低い周波数から順番に並べ変えられます。

登録した放送局を削除するには



1 削除したい周波数を選ぶ。

2 ►■（再生/停止）ボタンを、約0.5秒間押し続ける。

3 シャトルスイッチを回して「OK」選び、►■（再生/停止）ボタンを押して決定する。

登録していたプリセットが削除され、ひとつ後のプリセットが表示されます。

使用上のご注意

ご注意

充電について

- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーサービス窓口へお問い合わせください。

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
- 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）
- 風呂場など、湿気が多いところ
- ほこりが多いところ
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。

ご使用について

- ストラップをつけてご使用する場合は、ストラップが引っかかると危険ですので、ご注意ください。
- 飛行機などに乗るときは、ご使用にならないでください。

お手入れについて

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、からぶきします。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布でからぶきしてください。

ご注意

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので、使わないでください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

本機を廃棄するときのご注意

環境保護のため、内蔵のリチウムイオン電池を取り出してください。

⚠警告

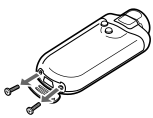
本機を廃棄するとき以外は、絶対にネジをはずさないでください。

⚠注意

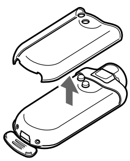
内蔵のリチウムイオン電池は、完全に消耗した状態を確認してから取り出してください。
内部の金属部分（取り付け板など）の取り扱いには充分ご注意ください。

内蔵のリチウムイオン電池の取り出しかた

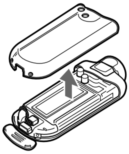
1 ビスをはずす



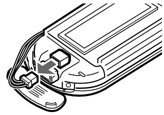
2 透明ケースAをはずす



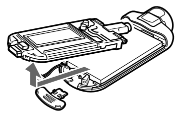
3 透明ケースBをはずす



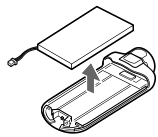
4 コネクタをはずす



5 基板をはずす



6 電池をはずす



本機内蔵のリチウムイオン電池について

Li-ion Mn

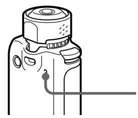
リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
社団法人電池工業会ホームページ
http://www.baj.or.jp/
を参照してください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度お調べください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、最終ページに記載のお問い合わせ窓口までお問い合わせください。パソコンとの接続については、付属ソフトウェアのオンラインヘルプもご覧ください。

リセットするには

下記のチェックをしても正常に動作しないとき、音が出ないときは、本体背面のリセットボタンを先の細いもので1秒以上押してください。



ヒント
リセットボタンを押しても、音楽データは失われません。

こんなときは

本体の操作について

症状	原因／処置
再生音が出ない 雑音が入る	• 音量がゼロになっている → 音量を上げてください（16ページ）。 • ヘッドホンがしっかり差し込まれていない → ヘッドホンジャックにしっかり差し込んでください（16ページ）。 • ヘッドホンのプラグが汚れている → 乾いた布でプラグの汚れをふきとってください。 • 曲が入っていない →「NO DATA」と表示されているときは、パソコンから音楽データを転送してください。
ボタン操作に反応しない	• シャトルスイッチがHOLDの位置になっている → シャトルスイッチを中央の位置（通常モード）にしてください（33ページ）。 • 結露している → そのまま約2、3時間おいてください。 • 電池の残量が少ない → 充電してください（14ページ）。
転送した曲が見つからない	再生範囲が絞り込まれている → サーチメニューで「All Track」を選択してください（17ページ）。

その他

次ページへつづく

症状	原因／処置
再生音が大きくならない	AVLSが設定されている → AVLS設定を解除してください（35ページ）。
右チャンネルから音が出ない	• ヘッドホンが正しく差し込まれていない → ヘッドホンプラグを奥まで差し込んでください（16ページ）。 • ヘッドホン延長コードがネットワークウォークマンのヘッドホンジャックまたはヘッドホンコードに正しく接続されていない（NW-E505/E507）。 → ヘッドホン延長コードをネットワークウォークマンのヘッドホンジャックまたはヘッドホンコードにしっかり差し込んでください（16ページ）。
再生していたら急に音が止まった	電池が消耗している → 充電してください（14ページ）。

表示窓について

症状	原因／処置
画面に「□」と表示される	本機で表示できない文字が使用されている → 付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。

充電について

症状	原因／処置
電池の持続時間が短い	• 5 ℃以下の環境で使用している → 電池の特性によるもので故障ではありません。 • 充電式電池の交換が必要 → ソニーサービス窓口にお問い合わせください。 • 充電時間が足りない → 本機のUSB接続方法（USB Bus Powered）が「Low-power 100mA」になっている場合は、長めに充電してください（41ページ）。

パソコンとの接続や付属ソフトウェアについて

症状	原因／処置
インストールできない	対応のOS以外のOSを使っている →詳しくは「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。
専用USB接続ケーブルでパソコンにつないでも、本機の表示窓に「USB Connect」と表示されない	• SonicStageの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。 • パソコン上で他のアプリケーションが起動している →しばらくしてから、専用USB接続ケーブルを接続し直してください。それでも解決しない場合は、ケーブルを抜いてからパソコンを再起動してください。 • 専用USB接続ケーブルが抜けている →専用USB接続ケーブルを差し直してください。 • USBハブを使用している →動作の保証はできません。パソコンのUSB端子に直接接続してください。 • 本機のUSB接続方法（USB Bus Powered）が「High-power 500mA」になっている →USB接続方法（USB Bus Powered）を「Low-power 100mA」にしてください（41ページ）。
パソコンに接続したとき、ネットワークウォークマンがパソコンに認識されない	• 専用USB接続ケーブルが抜けている →専用USB接続ケーブルを差し直してください。 • 本機用のドライバをインストールしていない →本機用のドライバをインストールしてください。本機用のドライバは付属のCD-ROMより「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールすると自動的にインストールされます（13ページ）。
転送できない	• 専用USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない →専用USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直してください。 • 内蔵フラッシュメモリーの残り容量が不足している →聞かなくなった曲をパソコンに戻して、空き容量を増やしてください。 • SonicStageを使って、内蔵フラッシュメモリーに65,536曲以上または4,097グループ以上転送しようとしている →内蔵フラッシュメモリーに転送できる曲数は、最大で65,535曲、グループは最大で4,096グループです。なお、1グループ内の曲数制限は999曲です。 • 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向によりネットワークウォークマンに転送できないことがあります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお尋ねください。

症状	原因／処置
転送できる曲数が少ない（録音できる時間が短い）	• ネットワークウォークマン内の空き容量が、転送しようとした曲の容量よりも少なくなっている →聞かなくなった曲をパソコンに戻して、空き容量を増やしてください。 • 内蔵フラッシュメモリーに音楽以外のデータが入っている →内蔵フラッシュメモリー内に音楽以外のデータが入っている分、転送できる曲数は減ります。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、使用できるデータの容量を増やしてください。
パソコンに戻せない	• 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている →転送元のパソコン以外には、曲を戻せません。 • 転送元の曲を削除した →パソコン側の転送元の曲を削除した場合は、曲を戻せません。その曲がネットワークウォークマンでも不要の場合は削除してください。
接続中の動作が不安定	USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している →動作の保証外です。付属の専用USB接続ケーブルのみで直接パソコンと接続してください。
パソコンと接続中にパソコンの画面に「機器・メディアの認証処理に失敗しました。」と表示される	パソコンとネットワークウォークマンが正しく接続されていない →SonicStageを終了し、付属の専用USB接続ケーブルでの接続を確認した後、再度SonicStageを起動して操作してください。

FMチューナーについて

症状	原因／処置
FM放送がよく聞こえない	受信している周波数が適切でない →放送がもっともよく聞こえる周波数をマニュアル選局してください（45ページ）。
雑音が多く、音が悪い	● 電波が弱い →建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。 ● ヘッドホンのコードが伸びていない →ヘッドホンのコードがアンテナになります。できるだけ長く伸ばしてお使いください。
雑音が入る	近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している →携帯電話などを本機から離して使用してください。

その他

症状	原因／処置
操作時の確認音が鳴らない	Beepの設定が「Beep OFF」になっている →メニューで「Beep」の設定を「Beep ON」にしてください（39ページ）。
本体が温かくなる	充電中に本体が一時的に温かくなることがあります。

こんな表示が出たら

本体表示窓にエラー表示が出たら、下の表に従ってチェックしてみてください。

表示	意味	処置
AVLS（点滅）	AVLS設定時に、音量が規定値を超えている。	音量を下げるか、またはAVLS設定を解除してください（35ページ）。
CANNOT PLAY	• 本機では再生できないファイル形式である。 • 転送の途中で転送を強制中断した。	再生できないデータがある場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（55ページ）をご覧ください。
CHARGE ERROR	パソコンからの電力供給が異常である。	使用するパソコンを変えてお試しください。
DATA ACCESS	内蔵フラッシュメモリーにアクセス中。	アクセスが終わるまでお待ちください。内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しているときに表示されます。
ERROR	本機の異常が認識された。	本機をソニーサービス窓口にお持ちください。
EXPIRED	著作権者により再生制限をされた曲を再生しようとしている。	再生できないデータがある場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（55ページ）をご覧ください。
FILE ERROR	• データを読み込めない。 • データが異常である。	「FILE ERROR」となった曲を削除してください。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（55ページ）をご覧ください。
HOLD	シャトルスイッチが「HOLD」の位置になっているため、本機の操作ができない。	本機の操作を行う場合は、シャトルスイッチを中央の位置（通常モード）にしてください（33ページ）。
LOW BATTERY	電池が消耗している。	充電してください（14ページ）。

表示	意味	処置
MG ERROR	著作権に対して不正なファイルを検出した。	まず、データをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（55ページ）をご覧ください。
NO DATA	内蔵フラッシュメモリーに音楽データが入っていない。	音楽データが入っていない場合は、付属のSonicStageソフトウェアを使って音楽データを転送してください。
PRESET FULL	プリセットに31局以上登録しようとした。	プリセットは最大30局まで登録できます。不要な放送局を削除してから（46ページ）、再度登録してください。
USB Connect	本機がパソコンと接続されている。	エラーではありません。SonicStageを使って曲を転送したり、戻したりできます。ただし、本機を操作することはできません。
	アイコンが左右に動作しているとき：内蔵フラッシュメモリーにアクセス中。	アクセスが終わるまでお待ちください。内蔵フラッシュメモリーへデータを転送しているときや初期化（フォーマット）しているときに表示されます。

内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには

「CANNOT PLAY」、「EXPIRED」、「FILE ERROR」、「MG ERROR」が表示された時は、内蔵フラッシュメモリーの一部またはすべてのデータに異常があります。
その場合は、以下の方法で再生できないデータを削除してください。

① ネットワークウォークマンをパソコンに接続し、SonicStageを起動させる。
② データの異常の原因がはっきり分かっている場合は、SonicStageで削除する。
③ それでも解決しない場合は、パソコンに接続した状態で、SonicStageを使い、パソコンに戻すことの可能な曲はすべてパソコンに戻す。
④ パソコンからはずして、本機のFormatメニューの操作で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）する（40ページ）。

その他

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではポータブルICオーディオプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

最大録音時間

NW-E503

ATRAC3	ATRAC3plus
約 4時間10分（132kbps）	約 2時間10分（256kbps）
約 5時間20分（105kbps）	約 8時間40分（64kbps）
約 8時間30分（66kbps）	約11時間40分（48kbps）

MP3
約 2時間10分（256kbps）
約 4時間20分（128kbps）

NW-E505

ATRAC3	ATRAC3plus
約 8時間30分（132kbps）	約 4時間20分（256kbps）
約10時間40分（105kbps）	約17時間30分（64kbps）
約17時間00分（66kbps）	約23時間30分（48kbps）

MP3
約 4時間20分（256kbps）
約 8時間50分（128kbps）

NW-E507

ATRAC3	ATRAC3plus
約17時間00分（132kbps）	約 8時間50分（256kbps）
約21時間40分（105kbps）	約35時間00分（64kbps）
約34時間10分（66kbps）	約47時間00分（48kbps）

MP3
約 8時間50分（256kbps）
約17時間40分（128kbps）

サンプリング周波数特性
ATRAC3、ATRAC3plus、MP3：44.1kHz

再生信号圧縮方式
アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3（ATRAC3）、アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3plus（ATRAC3plus）、MPEG 1オーディオレイヤー3（MP3）：32～320kbps、可変ビットレート（VBR）対応

周波数特性　20～20,000Hz（再生時、単信号測定）

FM放送受信周波数
76.0～90.0 MHz（TV 1～3CH）

アンテナ　ヘッドホンコードアンテナ

インターフェース
ヘッドホン：ステレオミニ
USB

S/N比　80dB以上（ATRAC3 66kbpsを除く）

ダイナミックレンジ
85dB以上（ATRAC3 66kbpsを除く）

動作温度　5～35℃

電源
- 内蔵リチウムイオン充電式電池使用
- USB電源（付属のUSBケーブルを接続して、パソコンから供給）

電池持続時間*　ATRAC3形式の場合：約50時間（105kbps、連続再生時）
ATRAC3plus形式の場合：約45時間（48kbps再生時）
MP3形式の場合：約40時間（128kbps再生時）
FM放送受信時：約22時間

最大外形寸法　84.9 x 28.8 x 13.9mm（幅／高さ／奥行き、最大突起部を含まず）

質量　約47g

付属品　ヘッドホン（1）
専用USB接続ケーブル（1）
ヘッドホン延長コード（NW-E505/E507）（1）
キャリングポーチ（NW-E505/E507）（1）
クリップ（1）
CD-ROM（SonicStageソフトウェア、本体取扱説明書のPDFファイル、インストール・基本操作ガイドのPDFファイル）（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
カスタマーご登録のお願い（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

* 省電力設定（38ページ）が「Normal」に設定してあるときのめやすです。周囲の温度や使用状況により、上記の持続時間は異なる場合があります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ドルビー・ラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品。

用語解説

マジックゲート

MagicGate

データの暗号化と、相互認証の2つの技術により著作権を保護する技術。デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぎます。マジックゲート対応機器とメディアの両方にマジックゲートが搭載されている場合のみ働きます。
マジックゲート対応機器とメディアの間で、お互いに「マジックゲートに対応しているか」を確認（認証）し、確認できた場合のみデータを記録できます。データは記録時に暗号化されます。記録されたデータを再生するときも同様に、マジックゲート対応機器とメディアが相互に確認し、確認された場合のみ再生できます。

ご注意

MAGICGATE は、ソニーが考案する著作権保護の仕組みを表す名称であり、各種メディア間の互換性を保証するものではありません。

オープンエムジー

OpenMG

音楽配信サービスや音楽CDのコンテンツをパソコンに取り込んで管理するための著作権保護技術です。パソコンにインストールしたOpenMG対応ソフトウェアで、音楽コンテンツをハードディスクに暗号化して記録し、そのパソコン上での音楽の再生を楽しむことができる一方、インターネットなどへの不正な配信を防止します。また、「マジックゲート」に対応しているので、「マジックゲート」搭載の端末として認証された機器およびメディアにコンテンツの記録が可能です。

アトラックスリー

ATRAC3

「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略。高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。音声データをCDの約1/10に圧縮可能で、メディア容量の小型化が可能です。

アトラックスリープラス

ATRAC3plus

「Adaptive Transform Acoustic Coding3plus」の略で、ATRAC3よりも高い圧縮率で、ATRAC3と同程度あるいは更に高い音質を実現した新しいオーディオ圧縮技術です。

ビットレート

1秒あたりの、情報量を表わす数字のことです。単位はbps（bit per second）。読みかたは、「ビーピーエス」です。例えば、64kbpsは、1秒間に64,000bitの情報を持っているということを表わします。この数字が大きい程、音楽を再現するために多くの情報を持っているということになるため、同じ符号化方式（ATRAC3plusなど）の比較では、一般的に48kbpsよりも64kbpsの方が良い音で楽しめるということになります（ATRAC3、MP3等、他の符号化方式の音とは単純な比較はできません）。

MP3

「MPEG-1 Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めた音声圧縮の規格です。音声データをCDの約1/10に圧縮できます。符号化アルゴリズムが公開されているので、さまざまなエンコーダ／デコーダが存在しており、広く普及しています。

メニュー一覧

SEARCH/MENUボタンを約0.5秒間押し続けてメニューモードに入り、シャトルスイッチ（回して選択）と、►■（再生／停止）ボタン（決定）で本体の設定を変えます。

詳しくは（ ）内のページをご覧ください。「>」のある表示は、►■（再生／停止）ボタンで決定後、次の操作画面が現れます。

液晶の表示 （メニューモード）	**設定内容**
Repeat Mode>■	お好みに合わせてリピートモードが選べます（24ページ）。
Sound>■▸ （デジタルサウンドプリセット）	快適な音質レベルに設定できます（31ページ）。
FM Auto Preset>◇ （FMオートプリセット）	放送局を自動的に登録させることができます（43ページ）。
Volume Mode>■▸◇ （プリセットボリューム）	あらかじめお好みの音量を設定できます（36ページ）。
AVLS>■▸◇ （音量リミットの設定）	快適な音量レベルに設定できます（35ページ）。
Beep>■▸◇ （確認音の設定）	「ON」または「OFF」に設定できます（39ページ）。
Power Save Mode>■▸◇ （省電力設定）	お好みに合わせて省電力の設定ができます（38ページ）。
Display Screen>■ （表示モード）	お好みに合わせて切れ換わる画面を表示するかどうかを選択できます（30ページ）。
Date-Time>■◇ （現在時刻の設定）	年月日および現在時刻を設定できます（34ページ）。

液晶の表示 （メニューモード）	**設定内容**
Advanced Menu>■	Format> （メモリーの初期化） 本機内蔵のフラッシュメモリーを初期化できます（40ページ）。
	USB Bus Powered> （USB接続方法の設定） お好みに合わせてUSB接続方法の切り換えができます（41ページ）。
	Information> （本機の情報を表示） 機種名やメモリー容量、シリアルナンバーなどの情報を表示できます（42ページ）。

■ オーディオプレーヤーが停止中のときに表示されます。
▸ オーディオプレーヤーが再生中のときに表示されます。
◇ FMチューナーのときに表示されます

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

次ページへつづく

アルファベット順

A、B、C

D、E、F、G、H、I、M

O、P、R、S

U、V、W

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ（http://www.sony.co.jp/support-pa/）**

  ネットワークウォークマンに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]－[ウォークマン]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆ セット本体に関するご質問時：
    - 型名：
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、「必要な環境を準備する」（「ソフトウェアインストール・操作ガイド」）を事前にわかる範囲で、ご確認いただき、お知らせください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

- http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

- **ナビダイヤル** ………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
- **携帯電話・PHSでのご利用は** … 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
- **FAX** ……………………… 0466-31-2595

受付時間　：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35